

お散歩感覚で  
鯖江の市民活動がわがちゃらブックレット

# OSANPO

～11歩目～





■市民役所 いろはのイ…4p



■コラム「市民役所が創る未来」…8p



■チラシ&ポスターで振り返る  
今年度のさばえNPOサポート…16p



■こどもエコクラブ活動交流会 &  
ランドスケープ大作戦カードゲーム…10p



■編集後記座談会…18p



■サバ又シ総会2023…12p

## 目次

巻頭特集「市民役所 いろはのイ」	4p-7p
コラム「市民役所が創る未来」	8p-9p
「こどもエコクラブ活動交流会 & ランドスケープ大作戦カードゲーム」	10p-11p
巻末特集①「サバ又シ総会2023」	12p-15p
巻末特集②「チラシ&ポスターで振り返る 今年度のさばえNPOサポート」	16p-17p
編集後記座談会	18p-19p

### 『OSANPO』について

- ぶらり“お散歩”感覚で、さばえのNPOや市民活動のことが、気軽に楽しくわかる…それが、『OSANPO』のコンセプトです。
- タイトルに隠れた「NPO」(非営利の組織)は、実は身近な存在で、その気になれば、今すぐ、誰でも参加することができます。…そう、まるで“お散歩”のように☆…



しみんしゅやくしょ

# 市民主役所 いろはの



今、20年以上鯖江の市民活動、NPO活動の中心だった「鯖江市民活動交流センター」（さばえNPOセンター）を見直して、『市民主役所』という新しい「拠点」を作る動きがあるのをご存知ですか？  
 具体的な施設の設備や機能については、「サバヤシ総会」をはじめ既にあちこちで話し合いも行われています。  
 今回の巻頭特集では、そんな『市民主役所構想』を考えるための「準備体操」として、いくつかの「視点」をご紹介します。

## 市民主役所って なんだろう？

「市民主役のまち」を謳う鯖江市。  
 それは地域の主役は市民であるという当たり前のことでもありますが、それを「市民主役条例」として法律にしていることは鯖江市の特徴のひとつです。  
 そんな鯖江で、市民が地域のためのアイデアや活動を実現させたり、仲間・団体・行政などにつながる拠点としてイメージされているのが「市民主役所」。  
 そこは、市民活動はもちろん、地域活動やソーシャルビジネスなどなど…市民みずからで、自分たちの「まち」をより良くするための“よりどころ”でもあるでしょう。  
 地域のパワーが「集い」「育ち」「つながり」「まとまり」「稼ぐ」場。  
 そんな市民主役所を誕生させるため、何が大切か、皆さんも一緒に考えてみませんか？

# 自主

自分に  
何が  
できるかな

「市民主役」と「市役所」の言葉をモジった「市民主役所」という名前ですが、なかなか味わい深いですね。  
 市民一人ひとりが主役＝主体的に関わりながら、「市役所」のように、地域のための存在でもある。

公共に関わるプロジェクトの推進を担うために、当然、行政のメンバーも出入りするわけですが、あくまで市民の**自主性**が原動力です。  
 行政でなければ進められない案件もあるので、そこは見極める必要がありますが、何かに依存したり、クレームのはけ口のような場所でないのは確かでしょう。

市民は行政の「お客さん」ではなく「責任者」でもある。いわゆる「おまかせ」ではない「本当の民主主義」実践の場であることが「市民主役所」の存在意義なのかもしれません。



何か  
が起きそう  
動きそう

# わくわく わくわく

どこかを訪れる時、あなたは何を期待しますか？  
 観光なら、美しい風景や歴史的な遺産、あるいはグルメや文化も魅力でしょう。  
 そこには必ず**わくわく**があります。

つまり、それはこれまでになかった「経験」や「可能性」だったり、自分ひとりでは生まれて来ないような「発想」だったり。  
 「市民主役所」には、そんなわくわくなことが起きそうな人や出会いが待っていて欲しいですよ。

# 公私

みんなと自分の  
良い  
カンケイ

「市民主役所」は、誰か個人の野望や欲求実現のためにあるわけではありません。  
 でも、実は「個人の悩み」だと思っていたものが、町内や、社会全体の課題につながっている…なんてこともあります。

自分の思っていることが、とっても個人的なものなのか、もしかしたら社会的な視点で捉えることで、多くの人の生活をより良くできるヒントになるものなのか…。それを確認＆共有したりするのも「市民主役所」の役割かもしれません。

他にも、自分の人生のいくらかを、ボランティアや地域貢献に充てたいと思った時、それをどんなバランスで実行したらいいのかが、そんな**公私**の距離感を体感したり学ぶのにも、きっと「市民主役所」が役立ちます。  
 「私」が集まることで生まれるのが「公」。その意識が市民主役の原点かも。

# 多様

目的の地は同じでも  
ルートはそれぞれ

「生物多様性」だけでなく、人間社会でも多様性を尊重することが極めて大切だと言われています。

色々な視点や意見が交わされない社会は、どうしても一部の権力者や富裕層の利益を優先させがちです。

優劣や勝敗、貧富といった1方向だけの物差しは、多くの人の尊厳を無視して「正義」を振りかざす道具になります。

そんな社会を心地よいと感じる人もいるでしょうが、実際の社会は、能力も財産もまちまちで、障がいの有無やLGBTQ+(エルジービィティーキュープラス)へのスタンスも含め、実に多種多様なのです。

自分とは違う価値観の人も含め「地域をより良くしたい」。その目的実現のために、いろんなルート(やり方)を確保するのが「市民役所」のスタンスではないでしょうか。



# 尊敬

下から見上げる  
だけじゃなく

「リス・ペクト」は英語で尊敬の意味です。

普通、立場(能力)が下の者が上の者を敬う場合に使う言葉ですが、「市民役所」の中では「相互リス・ペクト」の実践を推奨したいものです。

立場やスキルなどで「上下」があったとしても、それだけでお互いの価値が決まってしまうと、議論も事業も硬直化してしまいます。

おのおのが自分の考えを大事にしつつ、相手の立場にも尊敬の念を持つ。

納得できない話でも、感情的に否定する前に、一度は尊重してテーブルに乗せる。

お互いの、そんな「寛容さ」の先にこそ、新しい可能性が見つかるかもしれません。



# 居場所

普通にみんなが  
「行くこうかな」って

実は鯖江には、全国でも知られるような活動を続ける「市民役所のスーパースター」が何人もいます。

「市民役所」では、そんな新しいスーパースターを育てることも大事でしょう。

でも、それが本当に「市民役所」の地域ってことなの?…そう言われると、ちょっと違和感があります。

特別な意識や才能を持つ人が実績を積むことは大歓迎。

でも、それと同じくらいに、普通の市民が、普段の生活の中で、ありふれた話題のひとつとして「地域のこと」を語り合うこと。それが、より裾野の広い、普段着の「市民役所」のようにも思いませんか?

買い物の帰りにでもふらりと寄って、鯖江の将来像を語り合える。「市民役所」には、そんな気軽な居場所にもなって欲しいと思います。

# 代弁

静かな「誰か」も  
大切なひとり

「アドボカシー」という言葉があります。

NPO活動などでの使われ方をザックリ言えば、社会的に弱い立場や声を上げられない人たちに代わり、大切なことや主張を代弁(アピール)したり支援したりすることを指します。

「市民役所」が市民一人ひとりを大切にするという意味ならば、このアドボカシー機能は、「市民役所」(あるいは、そこに関わる全ての人)が絶対忘れてはならないものです。

例えば立場の強い誰かや組織が、市民に配慮せぬまま、自分たちの都合優先で公的な活動を強行する時、「市民役所」はその「調整の場」となり…より厳しい場面では「砦」となる必要性もないとはいえません。

「声なき声」に耳を傾け、弱者に伝わりづらい情報をしっかりと発信すること。それも重要な使命のひとつでしょう。

# しあわせ

本末転倒には  
要注意

あたり前ですが、「市民役所」は市民と地域の幸せを向上させるためのものです。

行政も関わり、設備投資や運営には税金も使われるでしょうから、当然「実績」による評価も大切です。

ただ、間違っても、評価のための数字を稼ぐために、市民力を「すり減らす」ような存在になつてしまつては、本末転倒でしょう。

同じく「市民役所」が地域財政を必要以上に圧迫することも本末転倒と言えるのかも。

行政の事業や市民活動の中には、どうしても利益が得られないものが沢山あります。そのために税金があり、それによって福祉や医療といった公共サービスの多くも行われていますが、

人口減少や地域経済の縮小などが理由で、これまでのような行政依存の社会は行き詰まりつつあることも無視できません。

「市民役所」という言葉を聞いて、なんとなく誇らしい気持ちになる人は多いかも知れませんが、正直、自分もそう感じる一人です。

でも半面、市民が本気で「主役」として地域に関わらなければ、そろそろ継続が難しいとの意見もあります。

それは経済的な意味だけでなく、人と人とのつながりが崩壊に向かっていることへの警鐘にも思えます。

「市民役所」とは、ある意味そんな時代に生まれた、未来への希望であり、同時に試練なのかも知れません。

地域は、たくさんの市民が集まって出来上がっているもの。

自分自身はもちろん、無関心な人も含め、その全員が間違いなく「主役」です。

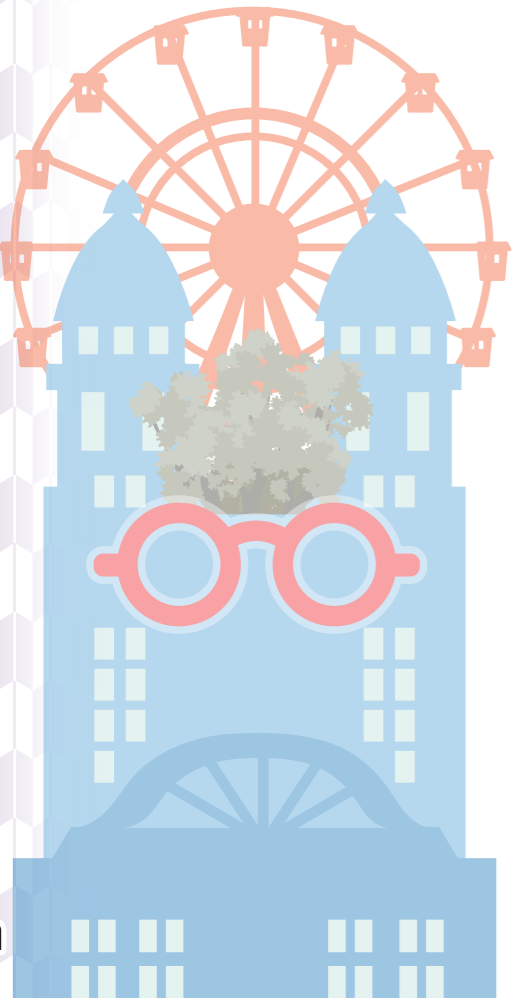
「市民役所」が、そんな市民のために、どうあるべきなのか…

地域や市民の「幸せ」とは何なのか…

いろんなバランスにも気を配りながら、近々目の前に姿を現すであろう「市民役所」に、一人一人の思いを集約し実現させたい。

もし、今号の記事の中のひとつ言からでも、そのためのヒントを感じてもらえたなら…

心から、そつ願っています。  
へおしまい



## コラム

# 「市民主役所」が創る未来

### ～誰一人取り残さない社会～を目指して

認定特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**  
理事長 **八田 登師男**



## ■市民主役のまちさばえ

鯖江市が「市民主役のまちさばえ」を標榜して久しく、ネットで「市民主役」で検索をすると、上位に「市民が主役のまちづくりSABAE」のサイトがヒットし、某主要検索エンジンでの最初の1画面中では、(この原稿執筆時だと)11項目中5項目が鯖江市関連となっています。

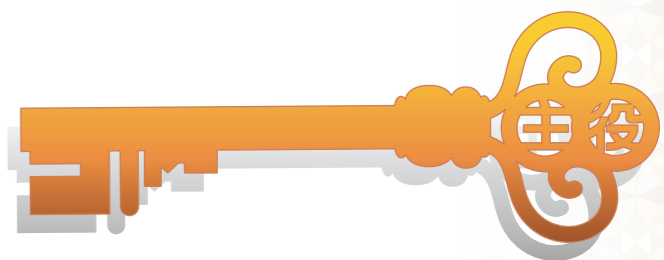
これはまさに、永年に亘り多種多様な市民団体が、行政の支援も受けながら様々な活動を展開してきたことの証左と言えます。

確かに鯖江市は、県内他市町はもちろん、全国的に見ても市民活動の盛んな市であると言えますし、多くの方がそれに関わっておられます。

また公設民営の市民活動支援のための拠点施設(鯖江市市民活動交流センター)があるのも全国的には希少な例です。

さらに「提案型市民主役事業」のように、行政が行っていた市民サービス事業を、市民(団体・企業・個人)が市民目線で提案し、受託・実施している自治体は、鯖江市だけでも言われます。(市民が提案し行政が認めた事業に補助金を出す「提案型市民主役補助金事業」＝鯖江市で例えると「まちづくり基金事業」を行っている自治体はあります)

またこの「提案型市民主役事業」の



制度は、行政から持ち掛けられたものではなく、市民から制度化するよう提案したもので、市民と行政とのニーズがマッチした成果と言えます。

しかしながら、鯖江市民の中で「市民主役」を意識し体現・実行している人の割合は、他市に比べて跳びぬけて多いと感じられないのは私だけでしょうか。

前述した鯖江市市民活動交流センターにしても、利用されない(された経験のない)方から見ると「何か特別な人たちが、自分たちの好きなことをしているようなところ」と映っているようです。

## ■「市民主役」の社会ってどんな社会?

そもそも「市民主役」って何?ってところですが、演劇では「主役」だけでは劇が成り立たず、脇役や照明係・道具等のスタッフの人たちも非常に重要です。

要は、どのような役割であってもその役割の重要性を認識することで主役と同様の立ち位置であることを自覚し、自身が主体的に取り組むことだと思っております。

人は誰もが夢や希望を持っています。その夢や希望を叶えられる社会が、市民主役の社会なのだと考えています。

## ■「市民主役所」ってどんなところ?

市民が主役の社会を実現するための拠点施設が、市民主役所です。

市民主役所は、夢や希望を叶える場所であって、叶えてくれる場所ではありません。あくまでも主体は自分自身です。

市民主役所には色々なモノが有り、また集まります。

俗に言う“ヒト”“モノ”“カネ”。自分と同じ叶えたい夢や希望を持っている人たち、解決したい地域の課題を持っている人たち、そして様々な情報、利用しやすい設備・機材、事業や組織のスタートアップや運営のための補助金情報や寄付募集のための支援・相談機能などなど。

市民主役所の入り口に敷居はありません。(鯖江市市民活動交流センターの入り口にも敷居はないのですが、利用されない方々にとっては見えない敷居があるようです)

市民主役所の入り口にニンジンがぶら下がっていませんが、そこを利用する方々からは精気や喜び、やる気がにじみ出て、何となく入ってみたいくなるようです。

市民主役所は、自分を輝かせることができる場所です。そして、鯖江市市民活動交流センター



だけが市民主役所の機能を担うところではありません。

鯖江市内には、環境関係や福祉関係・まちづくり関係等、さまざまなジャンルの活動をされている団体があり、それぞれに拠点施設があります。

それらの施設も市民主役所だと考えております。

## ■さばえNPOサポートと市民主役所

これまで市民活動やボランティア団体の活動拠点である鯖江市市民活動交流センターの運営を担ってきた我々さばえNPOサポートですが、もし新施設においても同様の立場であれば、市民主役所への転換に向け、その役割も変

化して行かなければなりません。

その中で最も大きな要素は、コーディネーション力の向上だと考えております。

これまでも様々な人や団体の要望をお聞きし、人と人、人と団体、団体同士を橋渡しする役目を担っておりますが、市民主役所では一層の情報収集・発信能力、コーディネーション力が求められます。

「市民主役コーディネーター」の配置等、人材獲得も視野に入れておりますが、一人の能力・一組織の能力にも限界があります。

前述しましたように、鯖江市内にはさまざまなジャンルの団体があります。それらの団体のお力もお借りすることで市民主役所としての機能を発揮して行くことが重要だと考えております。まさに「オールさばえ」で創り上げて行く市民主役所。その接着剤であり、スピーカー的な役割を果たすが、さばえNPOサポートだと考えております。

「市民主役のまちさばえ」では、市民全員が主役です。

誰も取り残さず、取り残されない社会、市民主役所はそう言う社会の実現のための拠点施設です。

一人ひとりが主役として、この施設に集い、活かしていくことが、鯖江市の未来と可能性を大きく広げて行くことでしょう。

# こどもエコクラブ活動交流会 & ランドスケープ大作戦カードゲーム

# つながる世界をゲームで体験!!

▼雪の残る当日朝の鶴陽会館



△ワークショップの真っ最中!



△さあ、最後の1枚が置けるかな?



こどもエコクラブ活動交流会  
主催：鯖江市・環境まちづくり委員会  
こどもエコクラブ活動交流会実行委員会  
日時：令和5年2月4日(土) 8時50分  
場所：鯖江市鶴陽会館

『あっとい間に  
ルール修得☆』

今回体験してくれた子どもたちは全員が未経験。でも心配無用!

一度「かたならし」でゲームしただけで基本ルールはすぐに修得。さすがは育ち盛りの脳細胞です。

勝者には「好きなプロモーションカード」をプレゼントというこどもあって、本番の2ゲーム目では、みんな真剣な表情でピラミッド作りにチャレンジしてくれました。

『オトナからも注目!』

体験の間、付き添いの先生やボランティアスタッフの皆さんからも、あれこれ質問やお褒めの言葉をいただきました。

短い体験時間でしたが、ハマればハマるほど世界の広がるゲームです。ぜひ次の機会には、より広い世界のランドスケープも楽しんでください。

今年にはさばえNPOサポートも、ワークショップのひとつを担当。体験してもらうのは、もちろん一昨年にオリジナルゲームとして完成させた『ランドスケープ大作戦カードゲーム』! 「いばしょ」「生きもの」「レンジャー(人間)」のつながりで、小さな生態系(ランドスケープ)ピラミッドを作り、競い合いながら、お互いの関わりや自分たち「人間」の役割も想像してもらおう奥の深いゲームです。

『生きものを補完せよ!』

カードを使って5段のピラミッドを完成させることが目的のゲームですが、今回のワークショップ参加をきっかけに、12枚の追加カードを製作。3段目と4段目の生きものを中心に、より厚みと豊かさにあふれた世界を作れるようグレードアップを果たしました。

9種類のカードではイラストも描き下ろし。もちろんQRコードによる「豆知識」もお楽しみみです。

上下の段をつなぐ「カラーライン」の色配分も、これまで少なめだった組み合わせを追加することで、ゲームバランスを微調整。手詰まりになる場面もグンと減りました。

『じぶんカード』

そして、なんとと言っても一番の目玉が『じぶん』カードです。

レンジャー(環境や生きものの中で、調整やお世話をする役目)の一種ですが、自分のアバター(化身)として、

2〜4段目に自由に置けます。

上下のカラーラインも全て「虹色」で、どんなカードともつながることができるとも大きな特徴。そこには「自分が環境や生きものに対してできる事は無限大」という意味も込められています。

今回体験してくれた子どもたちには、この『じぶんカード』も記念として持ち帰ってもらいました。目にする度に、そんな自分自身の可能性も感じてもらえたなら本当に嬉しいです。

学校関係の皆さんに限らず、もしこのカードゲームに興味を持って「体験会とかできないかな」と思った方は、お電話や公式サイトでのメールフォームから、さばえNPOサポートまでお問い合わせを。

カードの貸し出しや、インスタラクター(ジャッジ)の派遣も含めて、お気軽にご相談ください。まずは、一度プレイしてみるとところからいかがですか?

# カード追加でより豊かなLSへ

※OJカードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

<p>ヤマカガシ</p> <p>4 だんめ</p>	<p>ムササビ</p> <p>4 だんめ</p>	<p>コサギ</p> <p>4 だんめ</p>	<p>アオバズク</p> <p>4 だんめ</p>	<p>ニホンカモシカ</p> <p>5 だんめ</p>	<p>じぶん( )</p> <p>2~4 だんめ</p>
<p>サワガニ</p> <p>3 だんめ</p>	<p>ニホンアマガエ</p> <p>3 だんめ</p>	<p>ニホトカゲ</p> <p>3 だんめ</p>	<p>ニホノウサギ</p> <p>3 だんめ</p>	<p>オシドリ</p> <p>3 だんめ</p>	<p>キジ(オス)</p> <p>3 だんめ</p>

▲新しく追加されたカードは、身近な生きものから天然記念物まで12種類

公式大会や体験会の参加記念用に丹南地域に棲む希少生物たちの7種類のプロモカードも作成

あなたにもゲットできるチャンスがあるかも!?



ランドスケープ大作戦カードゲーム公式サイト

ランドスケープ大作戦カードゲーム 検索

これが、

市民による 市民のための

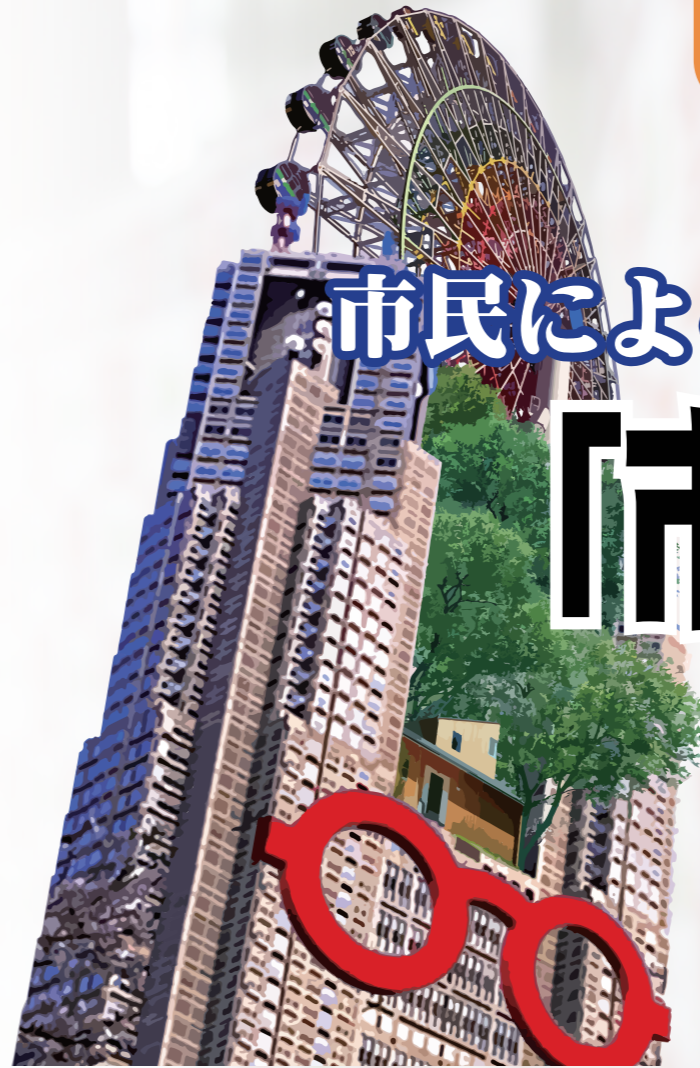
しみんしゅやくしょ

# 「市民主役所」



## サバヌシ総会2023

主催…サバヌシ総会実行委員会  
共催…鯖江市  
日時…令和5年3月12日(日)  
13時30分～  
場所…鯖江市民活動交流センター



「鯖江市民は鯖江市の株主＝サバヌシだ！」が基本コンセプトのサバヌシ総会。これまでは想像力あふれるたくさんの未来像を自由に発表し合う場でしたが、今年はひと味違います。

1999年3月以来、我々の市民活動の拠点として頑張ってきたさばえNPOセンターに代わる新しい拠点『市民主役所』の構想が、リアルに立ち上がってきたのです。

参加したサバヌシたちは何を議論し、どんなアイデアを披露してくれたのか？ そのプロセスと成果をレポートします。

総会当日は、例年よりもちょっと暖かい気候の中、総勢50名超のサバヌシたちが集合。

開催されたのは、NPOセンターでの恒例行事とも言える「サバヌシ総会2023」です。

毎年「同じだよね…」と思っているそのあなた！

今回は例年よりも一歩踏み込んだ「これが、市民による市民のための『市民主役所』だ!!」をテーマに、より具体性を重視した内容が繰り広げられたんですよ。

### 『市民主役所って何?』

さばえNPOサポートの八田理事長の進行で、サバヌシ総会2023実行委員会、衰輪委員長の概要説明より総会はスタート。

まず、簡単に鯖江市民活動交流センター(さばえNPOセンター)の「市民主役所」化構想についてのご案内。現状、各団体を支援する拠点として、



▲進行を担当した  
さばえNPOサポートの八田理事長

災害時ボランティアを含め重要な役割を担っているNPOセンター。中高生や社会人の学習スペースにも利用されている一方、まだまだ市民全体に施設が認知されていない側面もあります。

そんな中検討されているのが「新しい『市民主役所』の拠点づくり」。

センター施設の改装や移転・廃止を含め、「市民主役所」という意識をもっと高く持ってもらうための、新しい環境づくりが動き出しているのです。

### 『市民主役の トップランナーたち』

総会の第一部は「こんな市民主役所があったら、自分の夢が実現できるのに。」そのイメージを膨らませるため、市民主役を先導している方から、活動内容やこれまでの困難が語られます。

最初はNPO法人エル・コミュニティ竹部代表の基調講演。15年間活動を継続している秘訣は、学生主体・大人がサポートする体制の確立。

大人がただ教えるだけではなく、次の指導者を育成することで持続可能な団体運営に繋がっていること。最終的には行政に頼らない、資金面で自立をした運営をするための具体例を紹介しました。



▲NPO法人エル・コミュニティの  
竹部代表による基調講演

最初は「提案型市民主役事業」を活用しながら、独立した財政基盤を獲得する「成長モデル」も紹介



### ▲パネルディスカッション



▼NPOみるみえる  
加藤代表



▲市民協働推進会議  
青山委員長



▲市民主役条例推進委員会  
衰輪委員長



▲Creators Company  
酒井代表

次はパネルディスカッション。正面に4人の実践者の皆さんが登場です。

鯖江市民協働推進会議 青山委員長からは、市民活動のニーズ調整に際し、自分も周りも尊重した支えあいの大切さへのお話。

NPO法人NPOみるみえるの加藤代表は、法人化の際に経験した苦労と、その解決への道のりを披露。NPOセンターで資料作りから学び、最後はセンター職員と一緒に県へ書類提出を行った経緯を感慨深げに振り返りました。合同会社Creators Company

pany 酒井代表も、団体の稼働の大切さにフォーカス。運営してきたハンドメイドのグッズ販売イベントへの参加者の推移を説明し、一人一人がどれだけ敏感に周りへ興味を持ち表現できるかが大切だと訴えます。

最後に、鯖江市民主役条例推進委員会 衰輪委員長は、市民活動は仕事との両立が難しく、優先順位が低くなることについて言及。職業や子育てなど自分に関わることを入り口に活動をスタートさせ、行政と連携したまちづくりをするきっかけを、皆さんが前向きに見つけてほしいと、今後を期待を寄せました。

## 『未来のサバヌシへ』

休憩をはさんで、第2部は「サバヌシ未来会議」。いよいよ始まるワークショップの時間です。AとG、7つのグループに分かれ、模造紙の上に付箋で意見を貼り付けていきます。テーマは「誰もが気軽に立ち寄れて、やりたいことが見つかったり、やりたいことを後押ししてくれる、生き活きと活動できる『市民役所』とは?」。一人一人が求める具体的な主役所像が次々と挙げられ、予定時間を延長するほどに盛り上がりました。

## ▼初対面同士でも熱気あふれるグループワーク



中でも特に目立った意見が、カフェやキッズスペースの存在。様々な個性を持った人たちが気軽に立ち寄れて、気兼ねなく集える場所には確かに必要かも。

雑談から生まれるアイデア、ふらっと立ち寄ったことから繋がる縁、市民活動の自然な広がりが想像できます。



▲総会会場にもあった  
カフェコーナー

他にもCとFグループからは「オシャレな施設」といった発想も。いわゆる『映え』が流行・人流のポイントになる現代。とりあえず行ってみたく、ワクワクする雰囲気、皆に話したくなる空間、そんな場所に生まれ変わることは世代を超えた交流の場に求められているのかもしれない。

## 『誰か出さないと』

そして、とっても大切なのがその先集まった人たちが行動を起こしていることです。そのために必要な機能として全てのグループから挙げられたのが、団体や人はもちろん、行政・企業との間を繋ぐコーディネーターの大切さ。

何を始めるか迷っている人には活動中の団体を、次の活動へステップアップしたい団体にはタッグを組める企業を、プロジェクトに行政の許可や助力が必要な場合は市役所の担当者等を、多種多様な橋渡しが求められていることが伺えます。

ただし、あくまで主役は市民の皆さん。…なので、手続きの代行をするのではなく、一緒に活動を推し進める「仲間づくり」こそが、コーディネーターの大切な役割なのでしょう。

「市民役所に行けば、次の一歩が踏み出せそう!」鯖江市にそう思える場所があったらステキですね。

また、CやDグループを始め「人財育成」の大切さを訴えるグループも多く、団体を継続・発展させるために必要な人の確保、スキルアップのサポート役も市民役所には期待されています。

皆さんの意見や希望が集まれば、「SNS活用」「クラウドファンディング概要」…もしかすると「AIとの正しい付き合い方」なんて講座もできそうですよね。

特定の人が利用する特別な場所ではなく、市民誰もが関われる場所へ。

Fグループが挙げた「各団体の掲示板」、Gグループの「鯖江市の市民役所の歴史について学ぶコーナー」などがあれば、ふと壁に目をやった瞬間に、何か閃くヒントが見つかるかも知れません。

せん。

最後に、BやFグループも提案していた資金作りの面。

継続的な運営には、寄付の受け入れや、団体自身が資金を生み出す仕組み作りが必要不可欠。

なかなか難しい課題ではありますが、Aグループが提唱する「循環システムのある市民役所」にとっては忘れてはならない要素のひとつ。

個々の団体だけでは解決することが難しいからこそ、Dグループが挙げたように「基金を集め分配する機関」としての一面も、担っていかねなければいけないのかもしれない。

## 『自分とさばえの関係は?』

総会を通して、トップランナーの方や会場の皆さんから聞こえてきたのが『自分事』というキーワード。

市民役所構想資料の表紙にも登場するこの言葉、一人ひとり市民活動への温度差がある現状では、とても大切な視点ではないでしょうか。

「市民が主役であること」をあらためて見つめ直すことになる今回の市民役所構想。

市民役や市民活動という言葉にピンと来ない人の多くは、それを自分の生活や人生と距離のあるものだと感じているのではないのでしょうか。

そんな『他人事』を耳にしても記憶

成り立ちます。

特別なことをしなくても、『自分事』を少し広げて、周りにちょっと関心を持つこと。それがきっと市民役の第一歩なのでしょう。



「市民役所」は、早ければ数年後にも実現する予定です。

誕生した際は、ぜひとも一度訪れてください。いえいえむしろ、現在のNPOセンターも覗いてみてください。

そして、25年近くの年月で育った大切なもの、より良くするために必要なものを、ぜひ感じて教えてください。

今回サバヌシ総会で集まった貴重なご意見は、これからいただくものも集約して、あらためて鯖江市との間で話し合われます。

市民役の拠点として可能性をさらに広げ、ひとりでも多くの市民が直接関わることで、団体・企業・行政も集い、繋がる場へ。

市民役所の誕生に、皆さんも『自分事』としてご期待を!

には残りません。ましてや、自分の心を揺さぶられたり、そのために何かのアクションを起こそうという気持ちにはならないですよね。

また、市民活動と聞くと、「ボランティア」「無償」「奉仕」などが頭に浮かび、「やりたい人・出来る人がすればいい」「余裕が無いから難しい」「参加するメリットってあるの?」「誰かがやるでしょ」といった消極的な意見をよく耳にします。

半面、色んな所から声をかけられて複数の団体や事業に関わっている有志の方も数多く、それが負担になってきたという嘆きも少なくありません。

「ボランティア」が「自発的」を意味する言葉にルーツを持っていること



▲グループ発表にも個性がキラリ!

## 『主人公だって多種多様』

市民役と言えど、全員が先頭に立つ必要はないんです。

人気のドラマやマンガを見たって、熱血、熟慮型、好戦的、癒やし系…いろんなタイプの魅力的な「主役」たちが揃っています。

意見を出す人、まとめる人、行動に移す人、応援する人、もちろん、そっと見守る人も。

色々な人が集まってこそ市民活動は



▲閉会後にみんなで集合!

市民が主役のまちづくりSABAE  
<https://sabae-npo.org/shiminsuyaku/wp/>

詳しいレポートは  
ホームページでも



※Web上では、各グループが発表で使った模造紙を、わかりやすいチャートにした全資料も公開中☆



SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT

市民活動セミナー 実践「市民主役」!!  
エスディエーエス

# 自分事SDGs講座

2023年3月1日(水)19:00~  
さばえNPOセンター+Zoom

参加無料

みんな主役で、みんないい。あなたもSDGsのメインキャスト★

【2023. 3. 1(水)】実践「市民主役」!!  
〈自分事SDGs講座〉

令和3年度「ちりつも」ボランティアご報告

54,700円 ちゃ

ぎつ神さま

60,907円分でした~

べるまー子

〈ちりつもボランティア〉(雑紙・ペルマーク収集)  
令和3年度成果報告ポスター

放置じや  
政治も  
育たない。

ほめるのでけなすのでも  
ちゃんと伝えてナンボのもの。  
さあ、もっと政治をかまっぺよう!

7月10日(日)参議院議員選挙  
~その1票で育てよう~

【2022. 7. 10(日)】〈参議院選挙投票促進〉

福井県PTA連合会からのお願い

投函口

『書き損じハガキ』で  
PTAを応援するのぢゃ!!

切り: 2023年1月31日(火)予定

【2023. 1】県PTA連合会  
〈書き損じハガキ募集&収集〉

サバヌシ総会2023

これが、市民による市民のための「市民主役所」だ!

3月12日(日) 13:30~16:30

申込締切:3月10日(金)

参加費:無料

お申込みはこちら

【2023. 3. 12(日)】〈サバヌシ総会2023〉  
(提案型市民主役事業)

さばえNPOサポート

ランドスケープ大作戦

カードゲーム体験

【2023. 2. 4(土)】  
こどもエコクラブ活動交流会  
〈ランドスケープ大作戦  
カードゲーム体験〉

## チラシ&ポスターで振り返る さばえNPOサポートの令和4年度

『OSANPO』を発行している「さばえNPOサポート」は、今年度もいろいろな事業や活動をしてきました。その記録を、チラシやポスターで振り返ります。

2021-2022 フィールド体験シリーズ SAVE JAPANプロジェクト

ふくい・アラレガコ学校 [全3回]

# 耳大 アラレガコ王国におじゃまします!

最終回 2022年8月11日(木・祝) 8:00~13:00

体験イベント会員 大募集!!

活動場所: 耳川下流域(三方郡美浜町)  
集合場所: さばえNPOセンター

申込締切: 8月6日(土)

【2022. 8. 11(木・祝)】

2021-2022 フィールド体験シリーズ SAVE JAPANプロジェクト

ふくい・アラレガコ学校 [全3回]

# 海の子アラレガコをさがせ!

第2回 2022年5月15日(日) 8:00~13:00

活動場所: 耳川河口近辺(三方郡美浜町)  
集合場所: さばえNPOセンター

申込締切: 5月11日(木)

【2022. 5. 15(日)】

2021-2022 フィールド体験シリーズ SAVE JAPANプロジェクト

ふくい・アラレガコ学校 [全3回]

# 耳大 アラレガコ王国におじゃまします!

2022年8月27日(土) 8:00~13:00

活動場所: 福井県立大学 海洋生物資源学海産物研究センター

【2023. 2. 26(日)】  
〈SAVE JAPAN プロジェクト2022-2023〉

SAVE JAPANプロジェクト

三方湖のヨシ炒りチャレンジと食べものの体験!!

2月26日(日) 9:00~11:30

集合場所: 福井県山里海湖研究所

定員: 30名(先着順)

対象: 3年生以上 & 保護者

参加費: 500円(お1人)

申込締切: 2月21日(火)

SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT

さばえNPOサポートでは、ここでご紹介した以外にもたくさんの事業に関わってきました。今後とも、ぜひ応援をお願い致します!!

SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT  
SABAE NPO SUPPORT



令和五年 春の宵、鯖江市内のとある居酒屋。  
 さばえNPOサポートの広報委員会メンバーが集まり、  
 OSANPO11歩目発行の目途がついたところで、  
 恒例の座談会(雑談会?)を開いています。  
 ちょっと覗いてみましょう。

“繋げてあげる”でも無い、市民主  
 役所を運営する側も相談に行く側  
 もお互い対等の立場であることが  
 大事なんですよ。



☆「せなご」と「せれなご」

F そうだよ。それとSDGsの、  
 「誰一人取り残さない」って言う  
 理念があるけど、これの原文は、  
 「誰一人取り残されない」らしい  
 んだよ。

A 「取り残さない」って言うと、S  
 DGsの目標を達成しようとして  
 いる人たちが取り残されそうな人  
 がいないか気を配っている感じが  
 するけど、「取り残されない」と  
 なる一人一人がSDGsの目標  
 に向かってる感じがするよね。  
 SDGsも市民主役所もみんな  
 取り組むことが大事なんだよね。  
 まさに“オールさばえ”で。

☆3年ぶりのリアル!

A 超久しぶりのリアル座談会だね。  
 B そうだね。なんと3年ぶり。過  
 去2回はZoomだったものね。  
 飲みながら話をして酔っぱらっ  
 ちゃった人もいるけど。(笑)  
 C 長いコロナのトンネルだったなあ。  
 5月のGW明けには、新型コロナ  
 も5類に移行するし、なんか重し  
 が取れるみたいでワクワクするね。  
 D でも新型コロナウィルスが無くな  
 るわけではないから油断しちゃダ  
 メですよ。

A C はい。  
 A さて、それじゃあ本題に入ろうか。  
 今年のOSANPOは、ほぼ市民  
 主役所特集になったよね。  
 E そうだね。

C 私なんかは「市民主役所」って聞  
 くとか何かワクワクするんですけ  
 ど、市民活動とかに関わっていな  
 い人たちにすると「何じゃソレ?  
 ただの言葉遊び?」って感じもす  
 るでしょうね。  
 C そうだね。

☆まずるー?!

C そもそも市民活動とかに関わって  
 いる人たちって、マズローの欲求  
 5段階説では、欲求の最高段階の  
 「自己実現欲求」を満たそうとし  
 ている人たちで、構成比率は少な  
 いからね。

B 人それぞれ個性や能力、興味のあ  
 る分野など色々あるけど、そ  
 れぞれができることをできる範  
 囲で“..”として、たまにはちょっ  
 と背伸びしてみようかな?って  
 姿勢も大事だと思いますね。

☆NPOサポートの役割

A あと、自分たちのありかたとかも  
 忘れちゃだめですよ。  
 さばえNPOサポートも市民主役  
 所の中でどんな役割を果たして行  
 くのか、市民主役所に寄せられる  
 期待にどのように応えて行くのか  
 それも考えて変革して行かなくっ

F いんじじゃないかって思うんですよ  
 ね。

F それを言うとお終いになっちゃう  
 気がする。(笑)  
 マズローの欲求5段階説の解釈と  
 はずれるかも知れないんだけど、  
 第一欲求の「生理的欲求」にして  
 も、満腹になっている人に食べ物  
 を上げたところで「もう今はいら  
 ない。誰か要る人に上げる。」と  
 言うことになるよね。  
 この行動は承認欲求になるのか、  
 自己実現欲求になるのかは、その  
 行動の発露がどこにあるか?って  
 ことだろうけど、自己実現の低位  
 欲求がすべて満たされなければ自  
 己実現欲求を満たす行動を起さ  
 ない、って訳では無いように思っ  
 ちゃったよ。

☆「こ奇特」を卒業したい

B 何か難しい話になっちゃってつい  
 て行けない気がする。(笑)  
 でも、要は、市民主役所って特別  
 な、奇特な人の集まる場所じゃ  
 なくて、間口をみんなに、どん  
 な人に対しても開放して欲しいと  
 ダメだとは思っています。  
 D そうですよ。  
 やっぱ、組織・個人・アイデア  
 ・経済・世代なんかも繋がられる  
 場であって欲しいですよ。  
 E そうそう、そしてその繋がる“っ  
 て言うのは、繋げてもらう”でも  
 ないからね。

D ちゃうね。  
 そう、地域や生活全般を俯瞰して、  
 市民と重なりながら関わって行く  
 のが私たちじゃないのかな。  
 全員 はい。

「市民主役所」ネタで盛り上がった  
 座談会。  
 一応の落としどころはあったよう  
 ですが、まだまだ話は尽きず、夜は更け  
 て行くのでした。



広報メンバー募集!!

あなたもいっしょに『OSANPO』を  
 ませんか?  
 人とお話しするのが好きな方、  
 文章を書くのが好きな方、  
 テザインやイラスト作成が好きな  
 方など、ぜひお気軽に事務局まで  
 ご連絡ください。  
 待ってまーす!

【ご連絡先】  
 ■さばえNPOサポート事務局  
 TEL: 0778 (54) 7055  
 Eメール: info@sabae-ngo.org





●『OSANPO』では、これからも鯖江の市民活動団体さんを、どんどん掲載させていただきたいと思っています。「ぜひ、私たちのことも取材して!」という団体の皆さんは、さばえNPOサポートまでご一報ください。

●『OSANPO』の制作&・発行には皆様からのご寄付(賛助会費)の一部を使わせていただいています。



『OSANPO~11歩目~』  
 ●2023年3月 初版発行  
 ●発行人：広報委員会  
 ●発行所：認定特定非営利活動法人  
 さばえNPOサポート  
 福井県鯖江市長泉寺町1-9-20  
 TEL:0778-54-7055  
 FAX:0778-54-7058  
 E-mail: info@sabae-npo.org  
 ●https://sabae-npo.org/

